



DNW-19004 の概要

課題名 : 薬剤耐性株にも効果を示す赤血球期マラリア原虫を標的とした新規マラリア治療薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :
東岸 任弘 (国立大学法人大阪大学微生物病研究所)

ステージ: スクリーニング

【標的疾患】

マラリア

【創薬標的】

詳細探索中

【創薬コンセプト】

薬剤耐性株にも効果を示す赤血球期マラリア原虫を標的とした新規マラリア治療薬

【ターゲットプロダクトプロファイル】

赤血球期に作用し、既存の抗マラリア薬 (アルテミシニン、クロロキン等) と作用機序が異なる経口投与可能な低分子マラリア治療薬

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 赤血球内発育ステージの感染率を算出できる新規評価系を確立し、本評価系を用いて既存の抗マラリア薬 (アルテミシニン、クロロキン等) と作用メカニズムが異なり、マウス *in vivo* 評価系において抗マラリア活性を有する化合物 X を獲得した。

以下のことが創薬プースター支援により明らかにされている。

- 1) 前支援ステージにて化合物 X の標的候補の絞り込みに成功した。

【支援ステージにおける目標】

化合物 X の合成誘導体研究における課題の抽出と新規抗マラリア薬のリード化合物の

創出

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp